



校長通信

令和4年度34号 令和5年3月24日

和歌山市立河北中学校 校長 戸川定昭

令和4年度3学期終業式を体育館で行いました。今年度も、コロナ対策の制限を受けながらも、様々な工夫をしながら、学習活動を行って来ました。

保護者の皆様には、この1年間、河北中学校の取組にご理解・ご協力を賜り、ありがとうございました。来年度も、よろしくお願い申し上げます。以下に、終業式で私が話した内容を掲載します。

《終業式・校長式辞》

令和4年度をしめくくる、3学期終業式に際し、この1年間を振り返りながら、お話しします。今年度、はじまりの1学期の始業式で、3つの視点を意識して、学校生活を送ってほしいと話をしました。覚えていますか。



1つ目は「自分」についてです。自分のことを好きになり、なりたい自分に向け、努力するように話しました。なりたい自分に向け、努力できましたか？

ワールドベースボールクラシックで、侍ジャパンは見事な試合で優勝しました。MVPを獲得したのは、2刀流の大谷翔平選手でした。大谷選手が、高校3年生の時に書いた、「人生設計ノート」に、27歳でWBC出場、MVP獲得と記されていたようですが、今回、その夢を叶えたこととなります。なりたい自分に向け、努力した結果が報われたわけです。ちなみに、私も小学校の卒業文集で、将来、教師になる、剣道が続けると夢を書いて、その夢が叶いました。今も、剣道の稽古続けています。人それぞれ夢は違いますが、みなさん、自分のことを好きになって、これからも自分を信じて、目標に向け、努力して欲しいと思います。

2つ目は、「仲間」についてです。クラスメートや、部活の仲間など、まわりの人を大切にし、自分がされて嫌なことは、絶対にしない。逆に、自分がしてもらってうれしいことは積極的にしてあげる。そして、仲間と切磋琢磨して、お互いに高め合う関係を築こうと話をしました。自分がしてもらってうれしいことを、積極的に、周りの人にしてあげましたか？

3つ目の視点は、自分が所属する「学校」です。地域の方々は、河北中学校の生徒として、一人一人を見守ってくれています。良い行いをしたら、河北中学校は素晴らしい学校だと思ってくれますし、好ましくない行動をしたら、河北中学校の信頼が崩れていきます。母校に誇りをもって、地域の方々からも愛される素晴らしい学校にしていこうと話しました。校長通信でも、披露しましたが、昨年末、ある市民の方から、河北中学校の生徒に道を尋ねて、とても親切に教えてもらってうれしかったと、河北中学校に電話をいただきました。このような行いは、地域から愛される学校につながりますね。

明日から春休みですが、今年度を残心の精神で振り返り、反省すべき所は、反省し、来年度の取組に生かしてください。年度末、年度初めは交通量が多くなるので、交通事故に気をつけてください。新年度、みなさんと元気に会えることを楽しみにしています。